
ゴールド！金賞！

もぐら

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ゴールド！金賞！

【Nコード】

N9865B

【作者名】

もぐら

【あらすじ】

入学式、主人公時任晃「ときとうあきら」は吹奏楽に惹かれてしまふ。そして先輩達は……？吹奏楽部に入部した晃の運命は！？

ぷろろーぐ（前書き）

稚拙な文章で読みにくいかもしれませんが、でも最後まで読んでいただけたらとても嬉しいです。

ぷろろーぐ

冬も終わりを告げ春の心地よい風が吹き始めた。

少年は中学校という新たな学びの場に入學する朝を迎えていた。

朝食は済ませた。顔も洗った、歯もみがいた。真新しくぶかぶかな制服に身を包み、指定の鞆を肩から下げ玄関先で

「行ってきます」

茶碗を洗っている母は

「はい行ってらっしゃーい」

と台所から返事を返した、そしてドアを開けて外に出たその刹那「せつな」

「遅い！何分待たせれば気が済むのよ！」

門の前に少女が立っていた。

「小学校の集団登校じゃねーんだぞ？待つ必要がどこにある？」

「だから晃なんだ」

今存在を否定された彼は時任 晃「ときとう あきら」

そして怒っている少女は清水 沙織「しみず さおり」晃とは幼稚園から小学校でずっと一緒にいわゆる幼なじみだ。そして隣に住んでいる。

「あのなあ……お前のせいで小学校の頃何度バカにされたか……。

馬鹿なガキ大将みたいなのやつに『ふいゝあんせゝ』ってな。」「あら、あながち間違いじゃないでしょ？」

晃と沙織は小学校の最後の日、卒業式の日から付き合い始めていた。

「朝から一緒に登校なんてしてたらバカップルって思われるだろ！」

「嫌？」

「少なくとも入学初日からそんな風に思われたくない」

「わかった……。」

少ししょんぼりしてうつむいた沙織はぱっと晃の腕をとり

「じゃあ明日から一緒に行こっ！」

晃はそれを優しく振りほどき

「分かってないな……。」

と軽くため息をはいた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9865b/>

ゴールド！金賞！

2010年10月17日04時34分発行